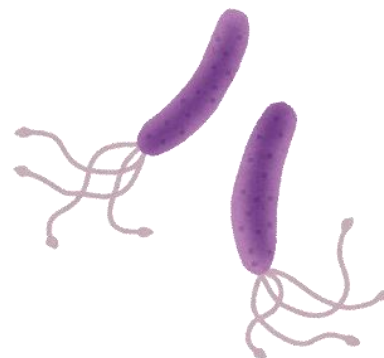


ピロリ菌感染は、胃がんの発症リスクを高めます

～感染が疑われるなら、これまでに除菌治療を受けたことがない方は受診しましょう～

ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）

胃の粘膜に生息する細菌で、感染経路は不明ですが、飲み水や食べ物を介して口から菌が入ってしまうことで感染するのではないかと考えられています。現在は衛生環境が整ったことにより、若年層の感染率は低くなっています。



ピロリ菌と病気との関連

ピロリ菌に感染しているだけでは通常自覚症状はありませんが、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃炎・胃がんなどの原因になることがわかっています。

ピロリ菌が分かった時点で、できるだけ早く除菌する方が、胃炎の進行予防・胃がんの発症抑制効果が高いといわれています。

ピロリ菌の検査と除菌

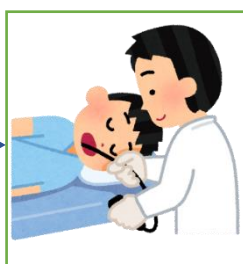
ピロリ菌の検査と除菌のためには、胃内視鏡検査で「ピロリ菌感染胃炎」と診断を受けることが必要です。健康保険を使って検査・治療を受けることができます。

詳しくは主治医にご相談ください。

【ピロリ菌の検査の流れ】 流れやイラストは一例です。医療機関によって検査方法が異なります。



診察



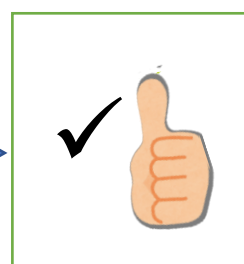
検査
（感染診断）



除菌薬服用



判定検査
（尿素呼気試験・
検便など）



除菌完了

除菌後も定期的な検診を

除菌が成功した後でも、胃がんにならないわけではありません。

除菌を行ったことがある方は一度、かかりつけ医にご相談下さい。

早期発見のために、定期的に胃がん検診を受けましょう。